



コロナに負けず がんばるぞ！ (斗賀野小学校)

さかわ *Sakawa* 議会だより

84
2020.11.1

発行 高知県佐川町議会

9 月定例会

contents 目次



親子の絆、大切だ！

7 月臨時議会	2
令和元年度 決算を認定	3
議案質疑 ふるさと寄附について	7
一般質問	
新型コロナウイルス対策	
産廃施設	11

令和2年第2回(7月)臨時議会議案内容

第2回臨時会は、7月21日に開催され、報告1件、議案2件を審議し採択の結果、賛成全員で全件を可決しました。

新型コロナウイルス対策関連補正予算として、一般会計補正予算では4,334万円の増額と、令和2年度学校給食特別会計補正予算432万円の減額予算が可決されました。

議案質疑

専決処分の報告

西森議員 この報告書は、高知市で職員が起こした事故の損害賠償金約50万円の報告であるが、最近こうした事故の報告が相次いでいる。

これは日頃からのルール違反やマナー違反、また横着な運転が原因で起こるべくして起こっているのではないかと。

堀見町長 再発防止については、再三伝えてあるが、今回も各課長から部下に徹底させたい。

一般会計補正予算

松浦議員 コロナ対策として実施するプレミアム付商品券事業とスタンプラリー事業とはどんなものか。

森田産業振興課長 商品券は、1冊5千円で販売

し、2千500円分のプレミアムを上乗せして7千500円分として使用できる。1冊15枚綴りであるが、プレミアム付の付く5枚は飲食店でのみ使用可となる。スタンプラリーは商店街を回ってスタンプを集め応募してもらうものだが、現在検討中である。



安全運転、守ってね！

西森議員 コロナ対策の商店街活性化として850万円計上されているがこれはどのようなものか。

また、商品券は1人何冊まで購入できるか。

森田産業振興課長 詳細には決めていないが、スタンプラリーの景品等を想定している。商品券購

入は1人10冊以内。

坂本議員 コロナ対策費としてマスクの購入が予定されているが、長く使えるものを選定してはどうか。

麻田総務課長 ゴムひものものは劣化もあるもので、保存期間の長いようなマスクの購入を検討する。

永田議員 プレミアム付商品券事業は遅きに失した感がある。説明では1人10冊までというが、10冊なら800人分の予算しかない。

これは不公平ではないか。また1回だけでは活性化の効果が薄いと思うが、第2弾、第3弾は考えないのか。

堀見町長 今後の状況を見ながら検討するが、今は考えていない。



使いましたか？商品券！

どうなる道の駅

「道の駅」の計画がすすんでいます。

霧生関のR33号線沿いに、「おもちゃ美術館」、芝生広場（ふわふわドーム含む）、自然遊歩道などが併設される予定です。

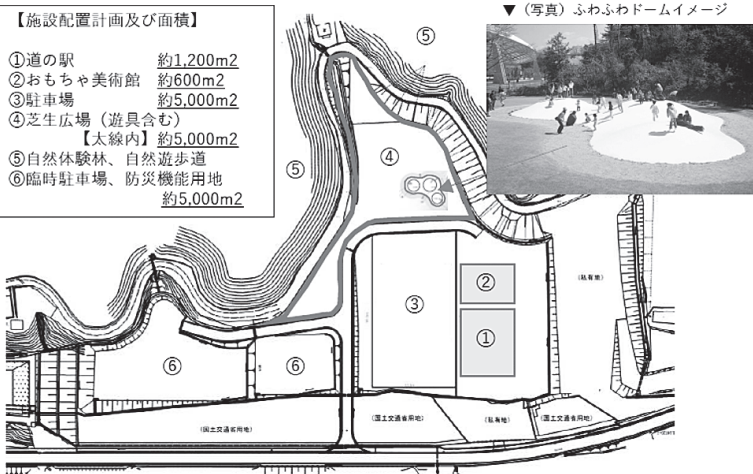
「道の駅」が佐川町の玄関口となり、将来にわたって世代を超えて楽しめる施設として、そして地場産業の振興につながる施設になるように、住民の皆さんの思い、願いを届けていきます。

▼(写真) ふわふわドームイメージ



【施設配置計画及び面積】

①道の駅	約1,200m ²
②おもちゃ美術館	約600m ²
③駐車場	約5,000m ²
④芝生広場（遊具含む）	【太線内】約5,000m ²
⑤自然体験林、自然遊歩道	
⑥臨時駐車場、防災機能用地	約5,000m ²



【図5-3 公園機能等配置計画】

9月定例会

令和元年度

一般会計・特別会計の決算を認定

町立小中学校へ 待望の空調設備（エアコン）設置完了

一般会計

9月定例会は、9月4日から11日までの会期で開かれました。令和元年度決算の認定のほか、令和2年度補正予算をはじめ、条例改正など議案・認定19件、人事案1件、報告4件、意見書2件を審議し、採決の結果、賛成全員、及び賛成多数で全件可決しました。

一般質問には8人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。

令和元年度の一般会計の決算は、歳入総額70億616万円で、前年度と比べ、4億9千333万円の増額、歳出総額67億7千473万円で、前年度と比べ、4億6千676万円の増額となっている。

歳入において、地方税は住民税及び、固定資産税が増加し、軽自動車税及びたばこ税も微増となった。また、ブロック塀・冷房設備対応臨時特別交付金（繰越明許）、地方道路交付金（繰越明許含む）の増により、国庫支出金が増加。ストックマネジメント事業補助金、中山間地域所得向上支援事業費補助金の増により、県支出金も、増加している。また、地方債、

ふるさと納税寄附金、地方交付税も増加となっている。

歳出においては、町立小学校空調設備整備事業、地方道路交付金事業等が増加したことで、歳出増額となった。

病院事業

事業収支においては、純利益2千224万円の黒字決算となっている。

年間取扱患者数は、入院患者数約3万2千人、外来患者約5万7千人となっている。介護老人保健施設の利用者は、4千人強で、デイケア、デイサービスの利用状況は、さくら荘と斗賀野荘を併せて、1万人弱となっている。

水道事業

事業収入においては、純利益1千600万円の黒字決算となっている。

平成29年度から継続して実施されている水道事業経営計画に沿って、南海トラフ地震に備えた水道施設の耐震化を実施している。



工事が進む水道耐震化！

国民健康保険

歳入18億9千198万円、

歳出18億6千500万円と

なっており、実質収支額は、プラスとなっている。

被保険者数は、3千90人で、世帯数は、2千25世帯である。

学校給食

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、小中学校の休校による学校給食の停止のため、歳入5千190万円、歳出5千187万円で減額となっており、実質収支額は、プラスとなっている。

対象児童・生徒数は、小学校（5校）645人で、中学校（3校）320人である。

農業集落排水事業

歳入2千617万円、歳出2千617万円で歳入歳出同額であり、実質収支

額は0円となっている。

加入状況については、計画戸数185戸に対して、加入戸数155である。

介護保険

歳入16億7千563万円、歳出16億681万円となっており、実質収支額は、プラスとなっている。

第1号被保険者数は、4千932人で、認定者数は、998人である。

後期高齢者医療

歳入2億3千977万円、歳出2億3千534万円となっており、実質収支額は、プラスとなっている。

被保険者数は、2千638人である。

令和元年度各会計の決算状況

歳出

総額124億4,704万円

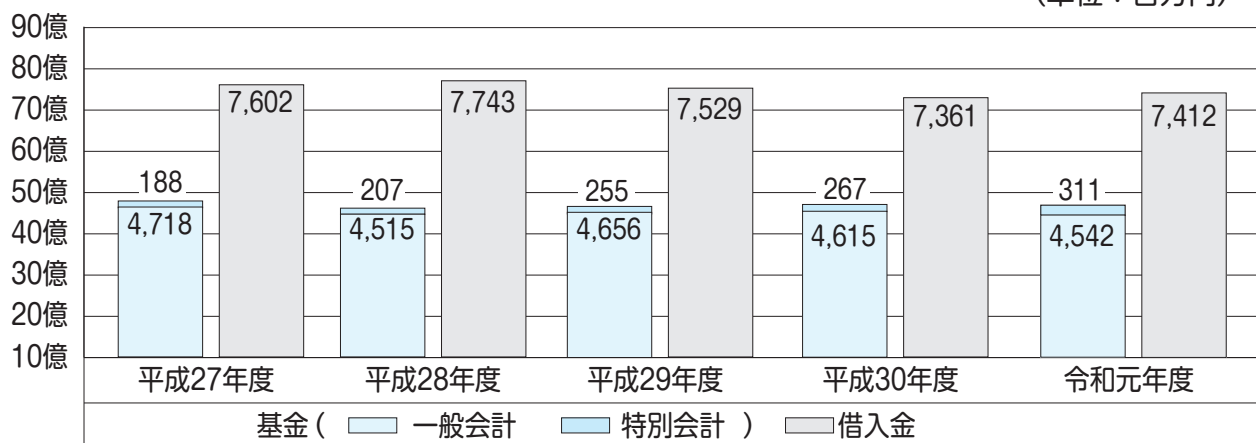
(単位：円)

会 計 名		決 算 額			
		歳 入	歳 出	翌年度繰越額	実質収支額
一 般 会 計		70億616万	67億7,473万	1億2,490万	1億653万
特 別 会 計	国民健康保険	18億9,198万	18億6,501万	0	2,697万
	学校給食	5,190万	5,187万	0	2万
	農業集落排水事業	2,612万	2,612万	0	0
	介護保険	16億7,563万	16億681万	0	6,882万
	後期高齢者医療	2億3,977万	2億3,534万	0	443万
	病院事業	17億5,462万	17億3,218万	0	2,244万
	水道事業	1億7,105万	1億5,498万	0	1,607万
総 合 計		128億1,723万	124億4,704万	1億2,490万	2億4,528万

※水道・病院事業特別会計は税抜収益の収支を記載

基金・借入金の推移

(単位：百万円)



※借入金は、特別会計・一般会計の合計金額を記載

町の基金

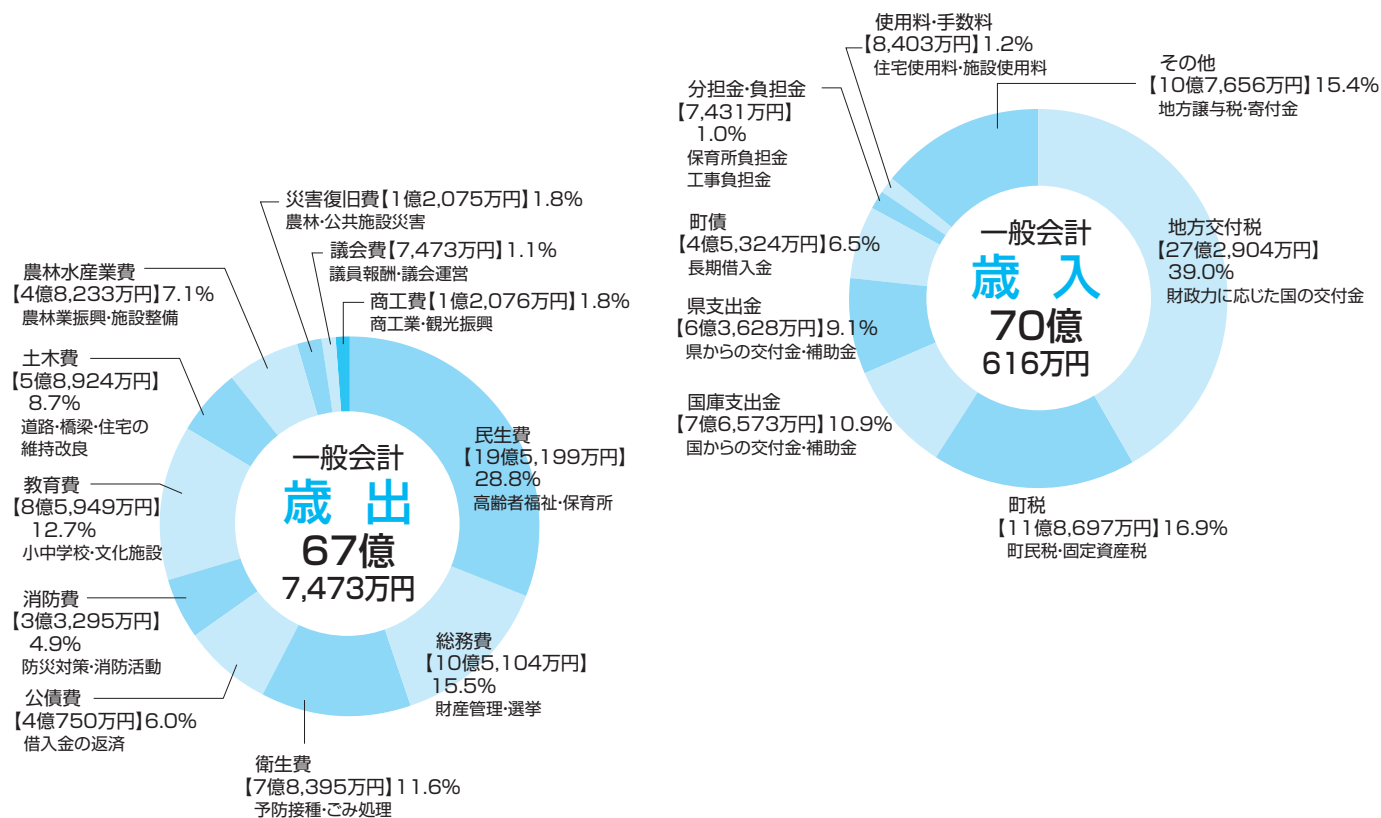
町の基金(積立金を含む)の状況は、令和元年度末現在高は、3千万円弱減少し、年度末現在高は48億5千万円余りとなっている。

町の借入金

一般会計では、借入金は、7千万円余り増加した。特別会計においては、2千万円弱減少。全体としては、5千万円強増加。総額74億円余りとなっている。

どう生かされた？みんなのお金

小・中学校の教育環境を充実



監査意見(要旨)

監査委員
上田 益 英
西 森 勝 仁

令和元年度の一般会計の決算の状況は、歳入において、地方税は住民税と固定資産税が増加、軽自動車税及びたばこ税が微増し、全体で約5千686万円の増加となった。

また、ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金（繰越明許）、地方道路交付金（繰越明許含む）の増加等により、国庫支出金は増加した。ストックマネジメント事業補助金や、中山間地域所得向上支援事業補助金の増加により、県支出金も増加し、地方債も増加している。加えて、ふるさと納税寄附金も増加となっている。これが主な歳入増額の要因である。なお、地方交付税は増額となっている。

歳出においては、町立小中学校空調設備整備事業、地方道路交付金事業等が増加したが、歳出増額の主な要因である。

普通会計の財務分析においては、財政力指数は0.33で前年と同ポイント、経常収支比率は92.4%で7.1ポイント改善、実質公債費比率は3.9%で前年度より0.6ポイント

イント好転している。今後においても厳格な執行管理が必要である。

未収金の状況は、一般会計、特別会計を含めると、不納欠損額は537万円で、前年度より270万円増加し、収入未済額は277万円で、前年度より2千8万円減少している。

また、町税及び国民健康保険税の滞納分を租税債権管理機構に委託しており、総額で352万円徴収されている。

自主財源の確保は、負担公平の原則からも滞納の防止と回収を図り、安易な不納欠損処分を余儀なくされる事案が発生することがないよう、収納業務の継続的な努力を期待するものである。

今後は、財政状況を踏まえ、投資のバランスを図りながら、必要な財源を確保し、住民の負託と信頼に応えるべく、最少の経費で最大の効果を挙げるよう、計画的、効率的かつ効果的な行政運営を推進されることを要望して、監査報告及び意見とする。



令和 **元** 年度

この事業に議会が注目

9月定例会で令和元年度の決算の認定がされました。令和元年度に実施された事業の中で議会が注目した事業を紹介します。



集える場所は大事だね！

地域の集い、交流、支え合いの拠点施設、また、高齢者や障害がある方などの地域の身近な相談窓口として、斗賀野・尾川・黒岩・加茂の4地区で事業に取り組んでいる。

**あったかふれあい
センター事業
3,366万円**

緊急避難場所に指定されている公民館・集会所（11カ所）の耐震化を実施し、大規模災害時等における住民の安全を確保することができた。

**緊急避難場所耐震化
整備事業
2,530万円**



耐震化された公民館！



今後の活用が重要！

教育研究所の運営・ふるさと教育の充実・不登校対策・学力向上・小中学校へのタブレット端末設置などICTを活用した教育環境の推進を実施した。

**教育研究所を中心とした
教育の推進
6,656万円**

ここを 聞いてみた

議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

令和元年度一般会計 決算の認定

坂本議員 ふるさと寄附が随分増えているが、前年に比べて増えた額とその要因、またその用途は何か。

麻田総務課長 金額は約1億825万円増。要因については返礼品を139品目に増やしたことで一部の市町村に集中していたものが分散したためと思われる。使途は公民館の修繕費や集活センター、防犯カメラ設置などである。



一番人気のベーグル！



文化の拠点 桜座！

中村議員 桜座の運営が非常に苦しいが、基金はどのくらい残っているのか。

堀見町長 基金は全て使いつつ切った。

しかし、住民に活用される大切な施設であるので適宜資金を投入する。

松浦議員 産後ケア事業の歳入と委託費として支出する歳出に大きな差があるがなぜか。

また特定不妊治療費が計上されているが、これは一般不妊治療からスタートするものでしっかりと広報すべきではないか。

岡崎健康福祉課長 歳入が約79万円で委託事業費の歳出が6万となっているが、その差額は、職員の人件費や事務費にも充てている。

また、不妊治療は少子化の中で大切な事業であるので周知を図る。

工事請負契約

防災行政無線

西森議員 この契約は、防災行政無線の契約であるが、設計コンサルタント会社の説明によると支柱は15年も経っている。現在のそれを使うということであるが、もし折れた場合の責任はコンサルタント会社が負うとのことである。町長はこれを担保するため一筆もらうとのことだったがもらったのか。

堀見町長 設計事務所が負う責任は契約書に明記されていると判断し、コン

サルタント会社が補償するという一筆はもらっていない。

松浦議員 議員への説明会では15年も経った支柱を再利用する設計で台風などで折れた場合はコンサルタント会社が全て責任を負うとのことであった。

しかし入札の際の仕様書ではコンサルタントの責任ではなく、施工業者の責任にかかっている。町長も一筆交わすと言っておきながら、交わしていない。これは信頼性にかかわる重大な問題であるが、一体どうなっているのか。

堀見町長 この設計書で工事会社が1社も参加しなかった場合は、コンサルタント会社の責任になると思っています。

また、工事に入ればコンサルタント会社が監理的立場となり問題があれば協議できる。支柱が折れた場合の責任はその原因による。

永田議員 町長は防災行政無線の設計にあたりメーカーを特定するような記載事項は無くしてフラットな設計にするようしっかりと指示をすると明言した。

また、現在の設計で入札に応募する工事会社は8社程度あると言っておきながら、実際は3社のみ。残り5社は支柱の責任問題など設計仕様書に疑義があったため辞退したのではないかと。

今回、古い支柱を使う設計であるが愛媛県内でもわずか5年で取り替えざるを得なくなった事例がある。こうした場合、責任はどこが持つのか。

堀見町長 5社がなぜ入札に参加しなかったのかわからない。議会で調査が必要なら調査してもらって結構。

また、責任の所在は設計書の内容のとおりと判断している。

JR客車

松浦議員 JR客車に関する工事であるが、これは設計価格が6千757万4千円で予定価格も同額で3社が入札に参加している。

しかし、入札率を見ると3社とも99%台でもはや競争原理は全く働いていない。設計書に無理があるのなら設計をやり直して再度入札にすべきではないか。

堀見町長 町の代理人である設計事務所の設計であり適正と判断している。

西森議員 この工事は町内業者5社を指名しての入札であるが、2社が辞退している。



JR 客車施設工事着工

しかもこの入札率は、100%に近く、競争入札の意味がない上、町財政への損失でもある。この問題は設計金額にあるのか、あるいは業者側にあるのか、どちらかであるが、このような入札は「1回顔を洗って出直してこい」と思うがどうか。

堀見町長 なぜこんな高止まりになったかわからないが、決められた予定価格の範囲内で適正に入札がされたと思っている。

デジタル行政無線の工事請負契約 反対討論（要旨）

永田議員 私はこの事業そのものに対して反対するわけではありませんが、本事業は事業費が2億3千万円もする重要事業でありながら、コンサルタント会社の設計では15年も経った古い支柱を再利用するというものであ

り、強度が保証されていない。

しかも工事にあたり受注業者は、必要なら自ら強度計算を行い、自費で支柱を更新する設計となっている。

強度計算は、コンサルタント会社の業務であり、1千200万円近い設計料をとっておきながらこれは責任放棄と言わざるを得ない。

今後予想される大きな台風や地震にも対応でき、倒れない支柱にするため設計を見直し、安全な施設にすべきである。

よってかかる契約には反対する。

賛成10 反対3で原案通り可決



防災行政無線

9月定例会で決まりました

9月 補正予算 ピックアップ

令和2年9月補正予算

(単位：円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	6億1,081万	99億9,666万
特別会計		
国民健康保険事業	2,728万	19億9,665万
介護保険事業	1,981万	18億7,855万
病院事業	6,996万	20億7,566万
水道事業	1,242万	3億4,582万

新型コロナウイルス
入対策費（高度無線
環境整備推進事業）
2億1,000万円

新型コロナウイルス
感染症への対応のため
情報通信基盤（光ファイ
バー）整備費用の補正。

商工振興費（佐川道
の駅構想策定事業）
1,320万円

佐川町道の駅の基本
設計委託業務費用の補
正。

教育委員会事務局費
6,515万円

新型コロナウイルス
感染防止対策のための
消耗品及び備品購入費
用の補正。

教育委員会事務局費
（ふるさと教育推
進事業）
980万円

ふるさと教育教材の
電子書籍システム構築
委託業務費用の補正。

令和2年度 補正質疑

一般会計補正予算

西森議員 民生費の中に無縁仏納骨堂建立費として225万円が計上されているが、行き倒れなど故事来歴のわからない人を埋葬するには町民目線からして価格が高すぎるのではないか。

岡崎健康福祉課長 この納骨堂には行旅死した人や、病院や施設など、身寄りがなく亡くなった方を埋葬する。40人の骨壺を想定しており最低限の広さと価格を考えている。



歴史をほこる白壁

西森議員 教育費の中に委託費として司牡丹の白壁の耐震診断費506万が計上されている。説明によると高知県建築士事務所協会に委託し、東京大学の協力を得るとしているが、事務所協会は設計事務所ではないので、建築士法第23条によってできないはずである。

また、東京大学の腰原研究室は、町長と深い関係にあるうえ、委託金の配分も不透明である。こうした玉虫色の委託はすべきではなく、やはり入札にすべきではないか。

堀見町長 司牡丹の古い木造建築物の耐震診断は県内の設計事務所単独ではできないと聞いており、以前もこのやり方で行ったことがある。

松浦議員 無縁仏の納骨堂を建て40体ほど収容するとの説明だが、石材でつくった場合、高さもあるし、ボルトで止めることはできない。地震などの災害も予想されているが、他の工法も検討したのか。

岡崎健康福祉課長 石材以外の方法についても越知町の例を参考にしたが、骨壺を納める柵や耐震性の問題などもあってトータル的に石という決定になった。なお発注する前に再度検討する。

坂本議員 光ファイバー通信整備費として2億1千万円が組まれているが、町内全域で利用できるのはいつか。

麻田総務課長 この事業は民設民営で行う事業者への補助金であるが、令和4年3月から利用開始予定と聞いている。



最新機器で体温チェック

橋元議員 民生費の中に保育所等コロナウイルス感染症対策事業に650万円が組まれているがこれは何か。

また事務局費の消耗品の586万は何か。

岡崎健康福祉課長 国の補正予算で保育施設1施設につき50万円、それに一時預かり事業にも1施設50万円、さらに追加の感染防止対策事業費なども含まれている。

吉野教育次長 これは学校や文化センターなどの配布する消耗品でマスクや消毒薬・感染防止用品などである。

条例改正

佐川町手数料条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正に伴い所要の改正を行う。

人事

佐川町教育委員会委員

和田 昌幸 氏
佐川町黒原2219番地1

工事請負契約締結

令和2年度・3年度

佐川町デジタル防災行政

無線システム整備工事

(契約の方法)

一般競争入札

(契約金額)

2億5千366万円

(契約の相手方)

株式会社 四電工

高知支店

常務執行役員支店長

森岡 孝容

J R客車収容施設他周辺整備工事

(契約の方法)

指名競争入札

(契約金額)

7千359万円

(契約の相手方)

大原建設 株式会社

代表取締役 大原 淑道



工事請負契約の
変更契約締結

佐川町役場庁舎非構造部
材等耐震改修工事

(契約金額)

3億2千489万2千700円

(既決契約金額)

3億1千369万8千円

(契約の相手方)

株式会社 晃立

代表取締役 嶋崎 勝昭

物品購入契約締結

佐川町内小中学校情報機
器等整備業務

(契約の方法)

指名競争入札

(契約金額)

4千249万1千691円

(契約の相手方)

四国情報管理センター

株式会社

代表取締役社長

中城 一

各議員の意思表明

賛否表（令和2年9月定例会）

○：賛成

●：反対

-：議長

欠：欠席

	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	藤原健祐
令和元年度佐川町一般会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度佐川町国民健康保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度佐川町学校給食特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度佐川町農業集落排水事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度佐川町介護保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度佐川町後期高齢者医療特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度佐川町水道事業会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度佐川町病院事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町一般会計補正予算（第4号）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町病院事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度佐川町水道事業会計利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
工事請負契約（令和2年度・3年度佐川町デジタル防災行政無線システム整備工事）の締結について	○	○	●	○	○	○	○	○	●	-	○	●	○	○
工事請負契約（JR 客車収容施設他周辺整備工事）の締結について	○	●	●	○	○	○	○	○	●	-	○	●	○	○
工事請負契約（佐川町役場庁舎非構造部材等耐震改修工事）の変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
物品購入契約（佐川町内小中学校情報機器等整備業務）の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
妊産婦医療費助成制度創設を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

8人が町政を問う

ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

地域振興券の配布

検討するべきだ

産業振興課長 考えていない

今回、発行されたプレミアム商品券は、申し込みが予定数に達しておらず、私の周りでもすぐの評判が悪かった。飲食店や事業者の皆さんの支援と、家計支援の両方を行う方法として、地域振興券の形で商品券を全世帯に配布することを検討するべきだ。

森田産業振興課長 今回の商品券は商店街の事業者向けが主眼となっている。個人向け支援としては、定額給付金が給付されており、さらに困窮されている方への支援も行っている。そういったことから、地域振興券の配布は現在のところ考えていない。



図書館にも感染対策必要

図書館の書籍消毒器

設置を行うべきだ

町長 早期に導入を進めたい

コロナ禍において、新しい生活用式を作り上げの中で、感染症予防として殺菌を目的とする書籍消毒器の設置は、非常に有効である。図書館への設置を行うべきだ。

吉野教育次長 不特定多数の方が利用される図書館の書籍の殺菌、消毒に効果があるとされており、安心して利用できることにつながることを考えている。

堀見町長 早期に結論を出し、臨時交付金もしくはふるさと納税寄付金の基金を活用して早期に導入を進めたい。

コロナ禍において、新型コロナウイルスの感染リスクを考えると、避難者を分散し、避難所における感染拡大リスクを抑えるために、「分散避難」の協力を町民の方にお願いくることが必要となっており、全国の自治体でも始まっている。「分散避難」についての考え方はどうか。

堀見町長 「分散避難」の考え方は、とても大切だと思っている。今後、自主防災組織の皆さんとも連携を取りながら進めていきたい。

また、広報、ホームページ等で「分散避難」に対する情報発信も併せて行っていきたい。

町長 とても大切だと思っている

災害時における「分散避難」

考え方は



3 密避ける避難所運営を！



西森 勝仁 議員

来年の選挙 町長選出馬は

町長 現時点では決めていない

来年10月には、町長も議員も選挙である。

しかし、前回の町議選の投票率たるや63.3%と最低を11ポイントも更新している。これは、町民視線からして、権力のチェック機関である議会の存在意義が薄れ、町長の追認機関と映っているのではないか。

また、町長は町長でさしたる事業実績も見えない中で、突然降って湧いたような役場庁舎や文化センターのリニューアル事業など、数億円単位の借金事業を次々と予算化している。これではどうも、住民がしらせて政治に関心を持たないのではないか。

町長は来年の選挙に出馬するのか。

堀見町長 道の駅や新文化拠点の大型事業はあるが、住民の皆さんからの要望や請願があり、議会でも議論されてきたものもある。

また、雨の日も遊べる場所ということでもおちや美術館も進める。

町長選については、現在のところ決めていない。

金額修正書類は 適切か

会計管理者 一切認めない

司牡丹の白壁の耐震診断を506万円で高知県建築士事務所協会に委託し、東京大学の腰原研究室の協力を得ることだ。

しかし事務所協会は設計事務所ではないので受託できないはずである。

また、町長は腰原教授とは個人的に深い関係にあり釈然としない。

さらに、この見積書は当初50万6千円であった

ものが0を1つ足して506万円となっている。町長は破格に安いと言ったが積算はすべて一式と書かれチェックの仕様がでない上、日当は、一人役2万3千円と安くはない。これはやはり入札にすべきではないか。

また、こうした金額修正された書類がまかり通っているのか。

真辺会計管理者 金額の修正は一切認められない。

堀見町長 東京大学の腰原教授は同級生だが、高い金額で仕事を出したいと思ったことはない。

また、司牡丹1号威の耐震診断も同様に実施したが、県内業者ではこの仕事の入札は厳しいと思っている。

佐川町 堀見 和道 様

(一社) 高知県建築士事務所協会
〒780-0870 高知市本町4丁目2-15
会長 西森 敬海
TEL 088(820)1231 FAX 088(822)1170

¥5,060,000- (税込)

高知市・歴史的地域建築物耐震化助成(助成費) 委託料

請書内容の記載のうえに詳細の図とおり御見積申し上げます。

記号	内 容	数量	単位	単価	金額	備 考
A	耐震診断・耐震診断作成	1	式	—	—	—
B	耐震診断	1	式	—	2,800,000	—
C	耐震診断計画書の作成	1	式	—	—	—
D	耐震工事後調査費(3棟)	3	式	1,199,000	3,597,000	52人役
E	打合せ・耐震診断費(含出張費・日当交通費・雑費等)	1	式	389,000	389,000	—
F	雑費	1	式	416,000	416,000	—
	小 計				4,602,000	—
G	消費税(税率 10%)				458,000	—
	合 計				5,060,000	—

提出された見積書

老健のリハビリ ニーズに込えているか

病院事務局長 医師の指示通り実施

高北病院の老健施設の目的は、在宅復帰を目指して機能回復訓練を行うことである。
入所者は、住み慣れた自宅に帰れる日を一日千秋の想いで待っている。
回復の為のリハビリは、患者のニーズに十分込えているのか。
渡辺事務局長 リハビリは、患者さんとコミュニケーションを取る事が大事であり、患者さんのニーズを聞きながら、医師の指示した時間を実施している。



元気にリハビリ中



坂本 玲子 議員

図書館建設は町民の悲願だ。図書館建設については今混乱していて、町民は心配している。図書館建設の方針に変更はないか。
整備方針通り複合施設にするのか。単独でもいいのか。

図書館建設

どうなる

町長 進めていきたい

現予定地は、駐車場まで距離があり利用しにくい。桜座付近に図書館と発明ラボを建てるのを検討して頂きたい。

堀見町長 図書館の整備は進めていきたい。

複合にするのであれば、上町地区以外は考えられない。あそこで整備できないというところになれば、図書館単独で整備をするという結論を出さざるを得ないと今は思っている。

図書館

ネット環境整えて

教育長 努めていく

休校の時に図書館の活用をすべきたと6月議会で質問した。

濱田教育長 利便性を高めていきたい。その方向で（来年度予算で）実現するよう努めたい。

図書館についてはすでに蔵書のデータは整えられている。そのデータをネットに上げれば、町民は検索し、借りたい本を予約することが出来る。

また、館内に端末の機器を構えることで、図書館内でも容易に本を探せる。早急に改善すべきたと思つ。少なくとも来年度の予算には計上すべきたと思つがどうか。



もっと利用しやすい図書館に！



食はいのち！

経費削減にならない病院給食

民間委託に疑問

病院事務局長 持続可能な給食提供のため

病院給食を民間に委託する方向で検討していると聞いたが本当か。

民間委託にするとかえって収支が悪化するというデータがある。経費削減にもならない民間委託には疑問が残る。直営を続け、正規職員を雇い、給食の質や患者優先を守るべきだ。

もし、民間委託になった場合、今働いている人の労働条件を守るか。渡辺病院事務局長 民間委託は検討している。

採算のための委託ではなく、持続可能な給食業務の提供のための委託である。

業者選定はプロポーザル方式で行い、様々な条件をつけている。その中に給食職員を希望者全員採用すること、現労働条件を下回らないようにすることといった条項がある。

協議交渉をして、決着しなければ、契約には至らない。

橋元 陽一 議員



町独自で PCR 検査を

健康福祉課長 今、考えていない

町内でクラスターがいつ発生するか予断を許さない状況だ。発生当初から保育園、学校現場、介護施設、医療現場で働く皆さんとその家族は感染の危機に晒されてきた。こうした職場で働く皆さんのPCR検査を検討するべきではないか。

岡崎健康福祉課長 県内の検査体制の構築については、県方針の下で各医療機関と市町村が連携協力して行うべきと考え、町としてPCR検査拡充の独自策の検討は、今のところ考えていない。

産廃ボーリング検査の 分析確認を

町長 問題ないと判断

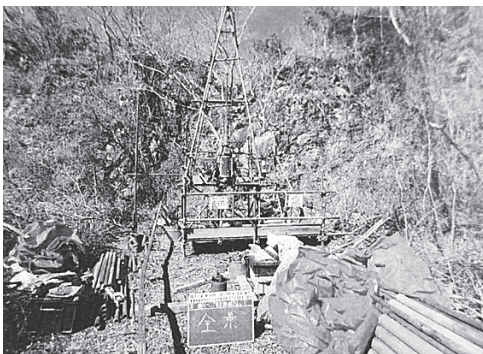
9か所のボーリング調査結果について、岩盤ボーリング柱状図が提出されている。

その中で、掘削速度の記載は4か所しか記載されていない。柱状図の専門家の分析等について県がどう受け止めているか。

地域住民の安全・安心のため住民にわかるよう説明が必要ではないか。

堀見町長 専門委員会の中で問題ないと判断している。

加茂地区の皆さんから専門的なことについて勉強したい、説明を受けたという要望があれば、県に伝えて勉強会等の開催を要望したい。



予定地のボーリング調査！



待たれる河川改修！

長竹川改修

返信封筒で意思確認を

町長 現時点では必要ない

第2回整備専門家委員会の資料について、庁議で共有しているか。

第3回連携会議で、副知事が「一定の了解をいただいている」と言ったが、地元住民の了解をどのようにして得たのか。

長竹川の改修で設定された目標流量について、住民の意思を受け止める手立てとして、町独自で返信封筒を準備してはどうか。

和田町民課長 庁議等での検討は行っていない。堀見町長 県の2回の説明会とアンケートによる質問、ご意見を踏まえて、県としては住民に一定の了解をいただいと判断している。

町独自に返信封筒などを用意して住民の意思を伺うことは、現時点では必要ないと考える。

その他の質問
職員定数条例について



森 正彦 議員

令和元年度決算の結果で、健全な財政運営はできているか。予算に対しての執行状況はどうか。支出額からみた到達度合いと評価を聞く。

また、今後の財政運営の見通しは。

令和元年度

決算の評価は

町長 バランスよく執行



みんなで活用する地域の拠点！

堀見町長 財政状況は実質公債比率でみると県内市町村の平均が10%ちょっとに対し佐川町は、4%台でかなり低い水準で推移している。

主な事業に関しては、集活センターやあったかふれあいセンターの取り組みも各地域の特性を生かしながら素晴らしい取り組みが展開されている。全体としてバランスの良い予算執行、財政運営ができている。

麻田総務課長 主要な施策は全て実行できており、決算額からみた達成度合いは96.3%程度だ。

中澤副町長 財政運営の見通しは向こう10年間、万が一何かがあっても将来の財政運営、公債費の負担が財政運営に支障を及ぼすようなことはない。と判断している。

災害対策

橋は大丈夫か

建設課長 耐震化と点検を進めている

豪雨や地震による橋桁の落下は避難、救助の大きな妨げになるばかりでなく、その後の復旧や日常生活にも支障を来す。主要な道路にかかる耐震化の状況を聞く。また土石流による橋の損壊が懸念されるが対策はどうか。



進む橋の長寿命化！



池内建設課長 佐川町地域防災計画では、地震発生時に災害応急活動を行うために必要となる主要な道路として、町道8路線を最優先で復旧することとしており、この町道に架かる佐川橋、柳瀬橋、井領橋を対象橋梁として耐震化を進めている。

令和4年度末には主要道路における耐震化が必要と判断した対象橋梁は全て完了する見込み。

その他の橋梁については橋梁長寿命化修繕計画に基づき5年に一度の定期点検を実施し、損傷や劣化を確認して対策工事を行い適正に管理している。

土石流を防止する対策は砂防ダムと治山ダムの県営事業があり本年度は、治山ダムが加茂と斗賀野地区で施工される。両事業とも対象箇所は民家や道路など保全対象がある場合に限られることから、土石流が懸念される全ての箇所の対策はとれないことが現状だ。

現在井戸水を使っている世帯に対し、県が補助制度を創設し行つ上水道整備は、産廃施設ができる

産廃地域振興策

上水道は負担なしで

町長 地元の声大きければ県と協議

下川 芳樹 議員



なければ必要がない。施設の建設で新たな負担を生むべきではない。自己負担はなしに行つべきだ。堀見町長 県が行つたこれまでの説明会の場では、全く異論が出なかった。県は、住民の了解を得ていると判断している。しかし、地元から宅内引き込みも負担してほしいとの声が大ききようなら、改めて県と協議する。



狭くて不便な加茂の道！



地域振興策の町道改良

用地買収で

町長 丁寧に進めたい

加茂地区の町道改良は、町内の地域と比べて大きく遅れている。その理由は用地の無償提供により、一部の地権者により負担がかかり過ぎるためだ。この機会を逃すことなく、地域の生活環境を改善する町道改良を用地買収で行つべきだ。

堀見町長 町道の拡幅を伴う改良は、原則用地の無償提供で進めていきたい。ただ、よほどの事情があり内容が異なる部分に関しては、話し合いによりスピード感をもって住民、地権者に理解を促すよう丁寧に事業を進めたい。

住民参加・経済効果を

協定書に

町長 協定書に明記したい



県による加茂地区住民説明会！

新たな管理型最終処分場に対する県と町の協定書の内容は、地域の合意を得て締結するのか。また、協定書には住民参加での監視体制や、地元への経済効果が生まれるよう県に伝えてほしい。

その他の質問
新型コロナ対策について

堀見町長 協定書の締結内容については、地元・議会に説明し確認いただいた上で県と締結する。内容は、地域振興策に係る協定書と環境保全のために締結する協定書の二つだ。地元が入って監視をすることも大切であり、環境保全の協定に明記したいと思う。また、地元に対する経済効果についても、協定書の要望に添えていきたい。



宮崎 知恵子 議員

生涯現役こそ多くの社会問題を解決する道である。シニア世代が活躍することで、町の活力も高まり、豊富な知識や経験が生かせ戦力となると思う。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生最

シニア世代が 活躍できる施策を

健康福祉課長 取り組みを進める



100 歳めざして がんばるぞ！

後まで過ごせるような社会実現が重要と思うが今後の取り組みを問う。
岡崎健康福祉課長 生きがいという面では、あつたかふれあいセンター、集落活動センターの地域での活躍の場があり、関わりの中で、有償ボランティア、働ける場、雇用の創出につながると考える。
今後、団体関係者と協議し元気な高齢者の取り組みを進める。

共生型施設

佐川町での位置づけは

健康福祉課長 共生社会の実現

道の駅建設計画

どうなる

町長 丁寧に進めたい

佐川町初の共生型施設がオープン。佐川町での包括ケアシステムの位置付けと役割についてお伺いする。
岡崎健康福祉課長 ぷらっとホームさかわは社会福祉協議会が開設し、認知症対応型のグループホームと、高齢者だけではなく障害者も利用できる共生型小規模多機能型居宅介護事業所を運営している。
地域住民と利用者が交流できる地域交流スペースを活用し、共生社会の実現に向け発信していただきたい。

まず、道の駅建設で町民が知りたい4点について聞くが、緊急ヘリ離着場の移転先はどこか、火薬庫の移転先はどこか、自然体験林は私有林だが、交渉はできてるか、道の駅まきのさん名称は関係者への説明はできているか。
あわせて、施設の指定管理料等利益を出す方法を聞く。

その他の質問
新型コロナウイルス対策費の具体的活用は。

田村チーム佐川推進課長
ヘリポートの確保は、加茂地区中心に検討。火薬庫は所有者と基本的合意。私有林は交渉を進める。
道の駅名称は、牧野家関係者への報告、説明はしていく。
堀見町長 民間のノウハウ、知恵、人材の活用等も含め検討し、町の代わり公的な部分を事務委託する可能性もある。精査する。



新しくできた共生型施設！



中村 卓司 議員

投票率

あげる対策は

選管事務局長 選管で検討

町内の投票率が下がっているが、その原因と対策を町としてどう考えているのか。佐川高校生など若年層の投票率を上げる工夫が必要だ。選管・町民・行政・議会で投票率を上げる話し合いの場

を設けてほしい。
その対策を12月議会までに検討願いたい。

麻田選管事務局長 投票率が下がっている原因は、以前は投票所の統廃合があり、20力所あった投票所が15力所になったことで投票所が遠くなったことも一因と考え昨年度から、15力所から17力所に増やした。

また、有権者の選挙、政治への参加意識が薄れていることも原因と考えられる。特に若年層の投票率が低くなっており、若者を含めた政治離れや政治に関する無関心が投票率低下の原因の一つと考ええる。

しかし、関心の薄い部分に関し投票率を上げる具体的な対策を検討し実施はしていない。

12月議会に間に合うように、選挙管理委員会を開催し検討する。

通学路に

防犯灯を

総務課長 必要と認めた場合設置



若者も選挙に関心を！

中学校の通学路は、新しい中学校が開校したことで新たな危険な箇所が発生している。防犯灯設置は検討しているのか。
麻田総務課長 平成27年度に要望があつて、一部実施した。
本年度は、中学校からの要望は受けていない。通学路の防犯灯設置要綱により、学校及びPTAから設置の要望を、教育委員会の意見を聞き内容を検討し、予算内で必要と認めた場合設置することになる。

認知症対策の

検討は

健康福祉課長 対策している

近年、超高齢化が進みつつあり、2025年には全国で700万人が高齢者となる。そのうち5分の1が認知症になるといふ統計もある。

そこで徘徊も含め、認知症対策を町としてどのように検討しているのか。
岡崎健康福祉課長 認知症での徘徊の対応については、地域包括支援センターも入り「さかわSOSネットワーク事業」を行なっている。34名を事前に登録をし、行方不明になった時にこのネットワークを使い、警察、消防、社会福祉協議会も含め関係機関で協力し、早期発見できる仕組みを作っている。

町民の認知症理解のためパンフレット配布、出前講座・サポーター養成講座等の実施をしている。



暗い夜道は危険がいっぱい！

あれはどうなったが？

あの質問のゆくえ

No.54



きれいになった町道青去2号線！

町道青去2号線の舗装改修を！

(令和元年9月定例会)

青去2号線の路面が舗装の沈下等により、でこぼこになっており歩行者や自転車の通行が危険な状況である。早急に舗装改修ができないか。

(西森議員)

産業建設課長 答 弁

実施する

青去2号線は、国道に接道し、住宅も隣接しているため、舗装改修に着手する。

令和2年10月に一部完成

令和2年6月の入札・契約により、青去2号線の一部（延長397m・面積1,120㎡）が完成。引き続き、路線延長の残りの舗装改修を実施する。

どう
なった

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は、12月4日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

編集後記

コロナ渦で自粛が続き、外出がままならなくなりました。

高齢の方たちの中には認知症の症状が進んでしまった方がいると聞きました。誰かと対話する、運動をして交流する、家族でお出かけする、そんな当たり前のことが出来なくなったときその大切さに気づきます。

コロナは人間にとって何が大切か教えてくれたように思います。

私たちの生活で本当に大切にしなければいけないことをもう一度考えてみてはいかがでしょうか。

坂本 玲子

議会広報編集委員会

委員長 下川 芳樹
副委員長 西森 勝仁
委員 坂本 玲子
委員 宮崎 知恵子
委員 橋元 陽一

※わかりやすい紙面に心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

地域で がんばる



大山 瑞さん 大山 征彦さん！

今回は、地域で
バイカオウレンの整
備に努める加茂の
里づくり会の会長
大山端さん、環境
部長の大山征彦さ
んにお話をお伺い
しました。

加茂の里づくり会



牧野博士の愛したバイカオウレン！

「加茂の里づくり会」
はいつからバイカオウ
レンの整備に努められてい
ますか。

当初は、加茂ウォーキ
ングの会で平成25年頃か
ら整備を始め、平成27年
の里づくり会発足後は環
境部会を中心に会員の協
力を得て、月に一回程度
整備に努めています。

「どのような活動を行っ
ていますか。」

佐川の玄関口加茂地区
のお宝である、四国バイ
カオウレンの自生地の除
草作業、遊歩道の整備、
種を採取しての植生の拡
大を行っています。現在
は植生面積も徐々に拡大
し、整備前よりもっと花
を楽しんでいた環境
が広がっています。



地道な作業が地域の力！

「今後の目標は何で
すか。」

自生地が拡大し、多く
の皆さんに楽しんでいた
だきたい、加茂のお宝を
守るため世代を越えた地
域の参加者が増えるよう
に願っています。

また地域のバイカオウ
レンが今後の経済活動に

多くの見学者で花も幸せ！



つながり、地域の活力と
なるよう取り組みを進め
ています。

「これからの予定があれ
ばお聞きかせください。」

新型コロナウイルスの影響でイ
ベントが休止状態です
が、来年のバイカオウレ
ンイベントにはたくさん
の方のご参加を期待して
います。

「早くコロナが終息し、
多くの見学者が訪れます
よう願っております。こ
れからも頑張ります。」

あなたの周りで、佐川
町の元気のために頑張っ
ている「組織やグループ」
をぜひご紹介ください。



みんなの笑顔でがんばってます！